

# Book Letter

図書館便り 5月号

田園調布学園中等部・高等部 図書館

この図書だよりは、学園 HP の学内ページ、google-各学年図書館クラスルームなどでも見られます。

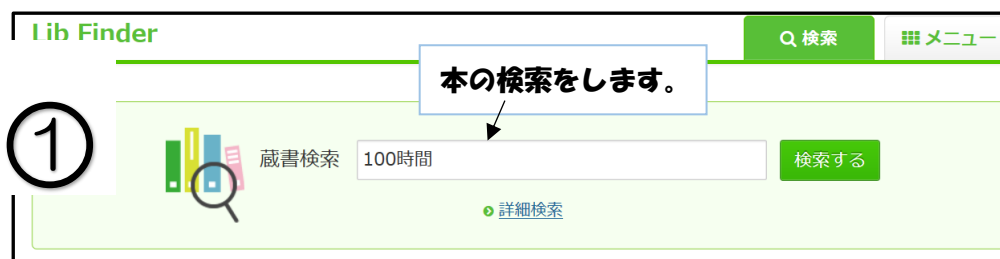
風が心地よい季節になりました。昨年産休、育休のためお休みしていた松井です。4月から復帰しました。みなさんとまた本の話ができるのをたのしみにしています！

## 春休み貸出の本 ただちに返却をお願いします

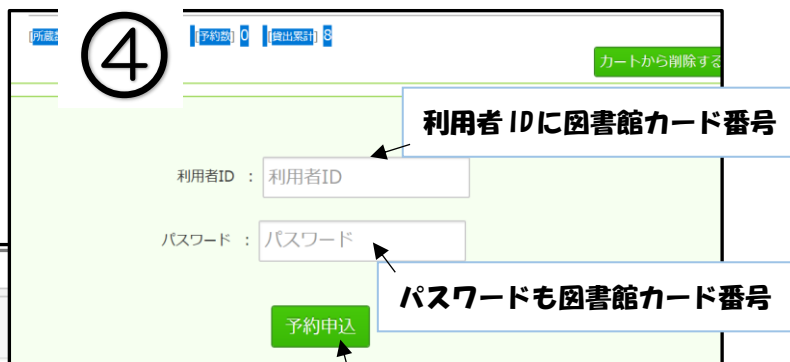
引き続き読みたい人は一度返却・延長してください。図書館にあれば、ほかの本との出会いもありますよ！

## オンライン予約ができます

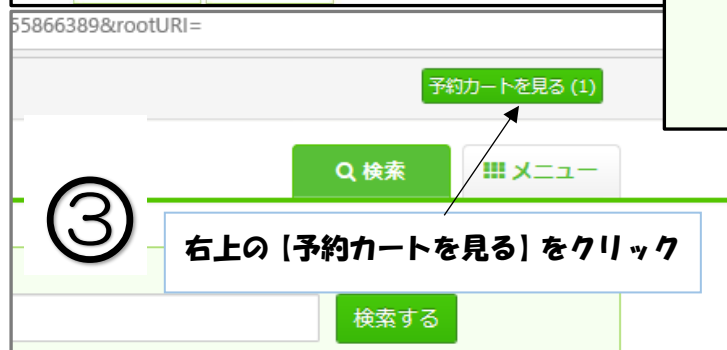
蔵書検索から、予約ができるようになりました。学校のパソコンはもちろん、スマホや自宅からでも出来ます。やり方はとても簡単です。



※貸出中の本しか予約は  
できません  
※本の取り置き期間は原則  
1週間です。忘れないよう  
に取りにきてね



申込を押したら完了。本が準備できたらクラスBOXへお便りをだします



## 『 おじいちゃんとの最後の旅 』 ウルフ・スタイク作 キティ・クローザー絵 徳間書店 2020年 949-ス

ウルフには仲良しのおじいちゃんがいる。優しくったおばあちゃんが亡くなってから、おじいちゃんは一層気難しくなった。病院のナースにもいつも小言を言っている。ウルフの父親はそんな祖父を見て、「なぜ自分の父親はあんな人間なんだ」とため息をつく。ある日、ウルフは祖父を昔、祖母と暮らしていた家へ連れ帰る作戦を立てた。もちろん、父親には秘密で。思わぬ助っ人が現われて旅は進む。ウルフと皮肉屋のおじいちゃんとの会話に、にやりとさせられること間違いなし。



## 『 橋の上の子どもたち 』 パドマ・ヴェンカトラマン著 田中奈津子訳 講談社 2020年 933-へ

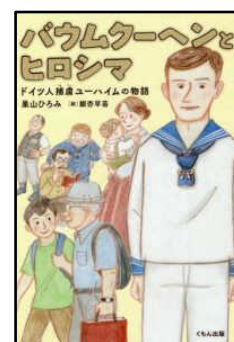


まさに今、新型コロナが猛威をふるうインドが、この本の舞台。ラクとヴィジは仲良しの姉妹だ。カースト(インドに古来伝わる世襲の身分階級)の違う父と母は、家族の反対を押し切り結婚をした。しかし、父は職につかず、家族にいら立ちをぶつけるようになる。ヴィジは知的障がいのあるラクを守るため、学校をやめ、ふたりで家を出た。行き着いたのは使われなくなった古い橋。そこで出会った少年、ムトウとアルルと一緒に、飢えや危険な路上生活を生き抜いていく。

## 『 バウムクーヘンとヒロシマ ドイツ人捕虜ユーハイムの物語 』

巢山ひろみ文 銀杏早苗絵 くもん出版 2020年 913-ス

スイーツ男子のソータは広島に住む、小学6年生。好きなお菓子はバウムクーヘンだ。ある時、遊びに来た祖父から、「おやじもバウムクーヘンがすきだった」と聞かされる。今から百年ほど前の話に驚くソータ。しばらくして、ソータは広島のしまの沖合にある似島で、バウムクーヘンづくりもできるピースキャンプに参加した。そこで、日本初のバウムクーヘンが登場したのが広島だったと知る。バウムクーヘンを初めて焼いたのは、第一次大戦で捕虜として連れてこられた、ドイツの菓子職人ユーハイム。当時、バターを食べる習慣がなかった日本人向けにバ



ターを控えめにし、生地を焼くための棒などは仲間の職人たちと作った。完成品は、捕虜による作品展覧会にて広島県物産陳列館で売り出された。ソータはバウムクーヘンの誕生した経緯を知っていくうち、捕虜や戦争、広島について、今までと違った思いをもつようになる。広島県物産陳列館はのちに産業奨励館と名を変え、1945年8月6日を境に原爆ドームと呼ばれることになる。ユーハイムは今もある老舗のバウムクーヘンのお店。こちらもどうぞ

<https://www.juchheim.co.jp/history> お菓子と歴史はつながっている。自由研究に調べてみてもおもしろそう。